



「げんきの郷」全景



グリーンセンター「さんハウス四季」



ファーマーズマーケット「はなまる市」



足湯「ちゃぶーん」

## ■ プロジェクト実現のプロセス

名古屋市の中心部から南へ約10kmに位置する愛知県大府市は、人口約8万4000人の典型的な都市近郊である。地域の約6割が市街化調整区域であり、名古屋市のベッドタウンとして現在も人口増加が続いている。

この都市近郊でJAあいち知多が「農と食のテーマパーク構想」を打ち出したのが平成6年。農村資源を生かした付加価値づくりで大勢の都市住民を集客し、農業の振興と地域の活性化につなげようとするものである。この構想は「アグリ・ルネッサンス構想」と名づけられ、平成10年に事業計画がまとめられた。自然景観を生かしながら、ファーマーズマーケット、花卉温室、農産加工所、和風レストラン、天然温泉、農業研修所などの施設群、イベント広場および400台の駐車場を備えた総面積5.3haの壮大な計画である。

対象となる土地は市街化調整区域内にあり、その大部分が農振農用地であったため、平成11年1月から始まった農振除外・農地転用許可・開発許可の関係行政との協議は難航を極めた。そこで、大府市の協力により、この計画を市町村マスタープランに位置づけるとともに、公益性が特に高い事業として農振除外を認める「農村活性化

土地利用構想」を市が策定して県の承認を得た。これに基づいて大規模開発の許可を得て、平成12年1月に造成工事を開始し、同年12月に、JAあぐりタウン「げんきの郷」が開業した。

## ■ ネック克服と仕組みの工夫

運営の特徴は、JAの直営ではなく、JA100%出資の子会社「株式会社げんきの郷」がJAから施設を借り受けて運営していることである。これは、ファーマーズマーケット以外に農産加工、レストラン、温泉施設など、業態も営業時間も必要な人材も異なる各種施設を機動的・効率的に運営し、専門的なノウハウ蓄積と運営スタッフの育成を図った。さらに、運営の中核となる支配人・副支配人・部門責任者にはJAから新会社に移籍した13人を充てた。すべての施設を自力で運営するために、主要スタッフは約6カ月にわたって民間ホテルやレストラン、加工施設、温泉などで実地研修を重ねた。

開業7カ月前の平成12年5月にファーマーズマーケットの出荷者募集を開始。JAの各支店の職員が管内の農家を回って出荷登録を勧誘した結果、約4カ月で目標の1000人ほどが登録したが、実際に出荷する品目・数量の予定をまったく考えていない農家が多数含まれていることが判

明した。このため、急きよ、JAの営農担当者と連携をとりながら、あらためて農家を戸別訪問して積極的な出荷をすすめるとともに、作目選定や栽培方法の相談・指導を行い、実際に出荷してくれる出荷登録者を確保することができた。

## ■ 新しい役割と魅力

開業から7年が経過し、平成18年度一年間の売上高は約38億円へと増加の一途である。集客力の要因は、地場産の新鮮、安全・安心、良質、おいしさ、安定価格にこだわった「農」と「食」、さらには天然温泉がそろう、子供から高齢者まで気軽に楽しめること。また、食文化を楽しむもちつきや味噌造りといった体験イベントのほか、周辺農地を活用した体験農園(年間延べ5000人が体験)など地元農家とのさまざまな交流活動に参加できることが挙げられる。

開業後7年半を経過した時点で出荷登録者は735人。そのなかには、ファーマーズマーケット「はなまる市」だけで年間2000万円以上を販売する農家が10人いる。また、若い世代が農業に戻りつつあり、二十代から三十代の専業農家が10人以上になっている。

### プロジェクト概要

所在地	愛知県大府市吉田町正右工門新田1-1	ファーマーズマーケット「はなまる市」……	事業期間	平成12年1月～12月
計画地域	市街化調整区域	909㎡	開業	平成12年12月23日
敷地面積	5.54ha、駐車場約520台	グリーンセンター「さんハウス四季」……	事業者	JAあいち知多
建設面積	6222㎡	704.4㎡	運営主体	株式会社げんきの郷(JAあいち知多100%出資子会社)
	天然温泉「めぐみの湯」………1978㎡	総合案内所………196㎡	連絡先	株式会社げんきの郷
	食彩処「だんらん亭」………697㎡	広場など………783㎡		総合案内所：☎0562-45-4080
	「できたて館」………955㎡	総事業費	：30.6億円(うち補助金4.8億円)	